

# 令和5年第7回教育委員会議事録

令和5年4月26日（水）

杉並区教育委員会

## 教育委員会議事録

日 時 令和5年4月26日（水）午後2時00分～午後2時24分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 白石 高士 委員 對馬 初音

委員 久保田 福美 委員 伊井 希志子

出席説明員 事務局次長 岡本 勝実 教育政策担当部長 佐藤 正明  
学校整備担当部長 教育人事企画課長

生涯学習担当部長 関谷 隆 庶務課長 渡邊 秀則  
学校ICT担当課長

学務課長 松下 美穂子 特別支援教育課長 正富 富士夫  
就学前教育支援センター所長

学校支援課長 木下 宏純 学校整備課長 青木 誠

生涯学習推進課長 本橋 宏己 済美教育センター所長 古林 香苗

済美教育センター統括指導主事 加藤 則之 済美教育センター統括指導主事 保土澤 尚教

済美教育センター教育相談担当課長 鈴木 壮平 中央図書館長 出保 裕次

事務局職員 庶務係長 佐藤 守 法規担当係長 岩田 晃司

担当書記 松尾 菜美子

傍聴者 0名

## 会議に付した事件

### (議案)

議案第45号 令和5年度における「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施について

### (報告事項)

- (1) 令和5年度学校給食の標準給食費改定について
- (2) 学校運営協議会委員の任命について
- (3) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について
- (4) 令和4年度「杉並区中学生小笠原自然体験交流事業」の実施報告について

## 目次

### 議案

- 議案第45号 令和5年度における「教育に関する事務の管理  
及び執行の状況の点検及び評価」の実施について・・・4

### 報告事項

- (1) 令和5年度学校給食の標準給食費改定について・・・6  
(2) 学校運営協議会委員の任命について・・・7  
(3) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について・・・7  
(4) 令和4年度「杉並区中学生小笠原自然体験交流事業」  
の実施報告について・・・8

**教育長** それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和5年第7回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。

本日、折井委員から欠席の連絡を頂いておりますが、定足数を満たしておりますので、このまま会議を進めます。

本日の会議について事務局より説明をお願いいたします。

**庶務課長** 本日の議事録の署名委員につきましては、教育長より事前に久保田委員とのご指名がございましたので、よろしくをお願いいたします。

本日の議事日程についてでございますが、議案1件、報告事項4件を予定しております。以上でございます。

**教育長** それでは、本日の議事に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

**庶務課長** それでは日程第1、議案第45号「令和5年度における『教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価』の実施について」、私、庶務課長からご説明を申し上げます。

お配りしております議案、1枚めくっていただきますと、「実施について」ということで説明文が書いてございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、令和4年度分の教育に関する事務の管理、執行状況について点検・評価を行ってまいります。効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果に関する報告書、これは議会に提出するほか、ホームページ等への掲載で公表するということで区民への説明責任を果たすものでございます。

併せて、今年度に予定されております杉並区の総合計画・実行計画の改定を踏まえた教育ビジョン2022推進計画の改定作業にも活用していくものでございます。

具体的な内容でございますけれども、「目的等」とのところをご覧ください。例年実施しております点検・評価のところですが、今、言ったような形で議会への提出とともに、区民への説明責任を果たすということで、効果的な行政の推進に資するという内容でございます。併せてビジョンの推進計画の改定作業にも活用していくものでございますが、具体的な実施方法は2番に書いてございます。実は令和5年2月1日付けの国の通知で、この点検・評価に関する整理が行われました。例えば私ども杉並区も同じなのですが、他の自治体でもこの点検・評価の作業が非常に膨大な量に及ぶということで、また同じように行政評価、事務事

業評価も行っているのですが、そういったものを一緒にできないのかということ国の方に問い合わせた自治体がございまして、国としては差し支えないという内容の通知でございましたので、我々といたしましてはビジョン2022推進計画の内容を点検・評価し、その内容と合わせて教育施策の全体を多面的に捉えた視点で点検・評価をしていこうということで、実施の方法を取りまとめさせていただきました。

具体的な内容が1から4までの手順に書いてございます。

まず1番でございますけれども、まずは定量的な評価ということで、このビジョンの推進計画の取組項目が幾つかあるのですが、それらの内容をきちんと評価していくと。それに基づいて2番といたしまして、定性的な評価を行うことに活用していく。この定性的な評価につきましては、教育施策全体を多面的に捉えるということで、「就学前教育」、「学校教育」、「社会教育」と3つの分野についてそれぞれ、更に4つの領域、「学びと成長」「人材と組織」「施設・設備」及び「行財政」、これらの視点を持って、重層的、横断的に見ていただこうということでございまして、この辺につきましては、学識経験者の先生方のご意見も踏まえた上でやっていこうという内容でございます。

手順の3番目といたしまして、対象となる事業は全てビジョンの推進計画に掲げた項目になろうかと思えます。4番目といたしまして、先ほど申したとおり、客観性を確保するというところで学識経験者のご意見を頂きながら、全体的なふかんをしていただこうというものでございます。

今後のスケジュールでございますが、3番目に書いてあるとおり、5月から6月のところでまずビジョンの推進計画の各項目について点検評価の案を作ってもらいます。8月に学識経験者の方のご意見を頂きながら意見交換をする。報告書の案につきましては、10月をめどに作成した上で教育委員会に付議すると。そこで決定した報告書は、11月3定議会の方に報告をして、ホームページ等で広く公表していこうというスケジュールを考えているところでございます。

以上で説明を終わります。議案の朗読については省略させていただきます。

ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問がありましたら、よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

それではないようでございます。教育長、議案の採決をよろしくお願

いたします。

**教育長** それでは議案の採決を行います。議案第45号につきましては、原案のとおり可決して異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

**教育長** それでは、異議ございませんので、議案第45号につきましては原案のとおり可決といたします。

それでは、続きまして報告事項の聴取を行いますので、事務局から説明をお願いいたします。

**庶務課長** それでは報告事項1番「令和5年度学校給食の標準給食費改定」につきまして、学務課長からご説明を申し上げます。

**学務課長** それでは、私から「令和5年度学校給食の標準給食費改定について」、ご報告いたします。令和5年度の学校給食費については、今年の2月に一度ご報告をしたところですが、更なる物価高騰による食材費の値上げに対応するために、標準食単価をお手元の資料のように改定することといたしました。

標準給食費ですが、通常給食費で、小学校低学年1食あたり269円、中学年289円、高学年309円、中学生349円。多様化給食では、小学校低学年345円、中学年371円、高学年397円、中学生448円でございます。この金額は2月にご報告をしたものから、小学生で6円、中学生で7円の値上げということになります。なお、この保護者負担額につきましては据え置くこととしまして、値上げ分は公費負担で対応いたします。

次に、2「標準食単価増額根拠」でございますが、まず牛乳については毎年最大でも1円程度の値上げであったため、1円の値上げとして試算をしていたのですが、東京都教育委員会の入札結果により、5円02銭の値上がりとなっております。また、消費者物価指数について、令和5年度の上昇率を1.7%と予想しておりましたが、令和4年2月から令和5年3月の前年同月比平均を算出し、上昇率を3.0%に修正したものでございます。私からは以上でございます。

**庶務課長** それでは、ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

**教育長** これ、保護者の負担額は据え置きということは今、ご説明いただいたのですが、保護者に給食費が上がったということは周知するのですか、それともしないのですか。

**学務課長** 今回、保護者の方に対しては特に徴収金額の変更はございませんので、学校宛ての通知とすることで考えております。

**庶務課長** ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それではないようでございます。報告事項1番についての質疑は以上で終わります。

それでは報告事項2番「学校運営協議会委員の任命」につきまして、学校支援課長からご説明を申し上げます。

**学校支援課長** 私からは杉並区学校運営協議会の規則の規定に基づきます「学校運営協議会委員の任命について」、ご報告申し上げます。今回任命されますのは、小中学校合わせて13校、計15名の方となっております。任期は令和5年5月1日から令和7年4月30日までの2年間となっております。

私からの報告は以上でございます。

**庶務課長** それでは、ただいまの説明につきまして何かご意見、ご質問ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それではないようでございます。報告事項2番についての質疑は以上でございます。

続きまして報告事項3番「杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認」につきまして、生涯学習推進課長からご説明を申し上げます。

**生涯学習推進課長** 私からは令和5年3月分の「杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認について」、ご報告をいたします。3月分の合計は、全体で14件でございます。定例・新規の内訳は、定例が13件、新規が1件でございます。共催・後援の内訳は、共催が1件、後援が13件になってございます。

私からは以上です。

**庶務課長** それでは、ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

**伊井委員** 新規の5ページの「学びのフレンドリースペース」という取組につきまして、お話を伺える範囲でご説明いただけたらと存じます。

**済美教育センター所長** 今、新規のご質問があったものについてお伝えさせていただきます。まず、主催者はこちらの資料にありますとおり、特定非営利活動法人のチャイルド・ファンダ・ジャパンというところが行うものなのですが、毎週水曜日の夕方の時間を使って、外国にルーツの



ある小中学生のお子さん及びその保護者の方を対象に補習をしたりですとか、それから進路相談などに乗るような取組を行うということで申請を受けております。

**伊井委員** ありがとうございます。対象は全区的なものでしょうか。

**済美教育センター所長** 杉並区の外国にルーツのある小学生、中学生と保護者の方々が対象になります。参加費を1回200円とって、相談や補習に参加するという形をとると聞いております。

**伊井委員** ありがとうございます。こういうことを通して、少しでも在住している間のお子様方の時間が、よりよい時間になるといいなと思います。よろしく願いいたします。

**庶務課長** ほかにはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

特段ないようですので、報告事項3番については以上でございます。

続きまして、報告事項の4番「令和4年度『杉並区中学生小笠原自然体験交流事業』の実施報告」につきまして、済美教育センター統括指導主事からご説明を申し上げます。

**統括指導主事（保土澤）** 私からは「令和4年度『杉並区中学生小笠原自然体験交流事業』の実施について」、ご報告いたします。今年度は62名という多くの参加応募があり、応募作文による一次審査、個人面談とグループ面接による二次審査を行った上で、22名の派遣生を決定いたしました。

3回行った事前学習では地球温暖化や海洋汚染等、派遣生一人ひとりが持つ課題意識を明確にしながら、自分ができることはどんなことなのかを考え、意見交換する派遣生の姿が見られました。また、小笠原村観光局の方から小笠原の生活についてお話を頂いたことで、派遣生たちは小笠原をより身近に感じ、出発の日を迎えることができました。

資料に記載のとおり、令和5年3月21日から3月26日までの5泊6日の日程で、予定どおり全行程を実施することができました。感染症の罹患等もございませんでした。

この小笠原自然体験交流事業は、多くの自然体験ができることが最大の魅力と言えますが、天候の影響を受けやすい面もございます。幸い今年度の派遣生は天候に恵まれ、条件が非常によい中で、全ての自然体験を行うことができました。

現地では何度もジャンプを繰り返すクジラの姿に歓声を上げたり、息

をのむほどに美しい海で夢中になってシュノーケリングをしたりするなど、小笠原の大自然を満喫し、一人ひとりが環境について考える様子が見られました。

また、生徒の主体性がより発揮された場面として、現地の方々との交流場面が挙げられます。フラダンスや南洋踊りといった文化に触れたり、各自の研究テーマに基づくまちの人へのインタビュー活動をしたりする中で、小笠原で生活する方の自然との向き合い方や、人の温かさを実感している様子も見られました。

今後につきましては、事後学習会で派遣生たちの体験を基にした学びを更に深めてまいります。大変うれしいことに、第7期派遣生の一人、中瀬中学校出身の現在大学生の方が、今の研究内容を成果還元としてこの事後学習会で報告してくれる機会があり、先輩としてよい刺激を与えてくれました。派遣生たちは成果報告会を、原稿をただ読むだけの報告会にはしないと、自分たちが体験したからこそ、今考えていることや胸に抱く思いが伝わる報告会にしようと準備を進めています。更に後は小笠原中学校との生徒同士の交流を充実させていく工夫にも取り組んでいきたいと考えております。

最後になりますが、今後、派遣生たちは残り2回の事後学習会を経て、7月8日の土曜日、成果報告会に臨みます。今年度は会場を変更いたしまして、永福和泉地域区民センターの研究室にて成果報告会を行う予定です。当日、派遣生一人ひとりが成長した姿をご来場の方々に見ていただきたいと思っております。

私からは以上です。

**庶務課長** それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

**久保田委員** 充実した自然体験交流ができたということで、何よりもうれしく思っております。引率した方々、また関係スタッフ、職員の皆様には改めて感謝を申し上げたいと思います。

この小笠原の自然体験交流を通して、やはり生徒たちが実際に自然や人々、あるいは文化等々直接的な関わり、まさにリアルな体験を通して学んだこと、得たこと、これがとても大切なことではないかなと思っています。

最近では、日本はもとより世界で対話型AIが広がっていく中で、やは

り学校現場においても、それらに対する対応がこれからの大きな課題になってくると思っています。そんな中で、やはりAIには成し得ない大事な学びというものをこの小笠原の授業は教えてくれているかなと私は思っております。今度の成果報告会も楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

**統括指導主事（保土澤）** ありがとうございます。今、お話しいただいたように、生徒の直接的な経験、体験から自分の思いを自分の言葉で報告できる、そんな報告会にしていきたいと思えます。

**庶務課長** ほかにご質問、ご意見いかがでしょうか。

**對馬委員** 引率して行ってくださった先生方、本当にありがとうございます。これは本当に杉並にはできない、いい経験をたくさんできる機会だと思います。多分設定されていると思いますが、是非学校で発表する場を持っていただきたい。やっぱり学んできたことを、その後どうやって生かしているのかというのが、やっぱり私たちとしても気になる場所でもありますので、是非そういう機会を。今回は先輩の方の発表があったということですが、是非そういう機会も増やして、学んできたことがこういうふうには生かされているのだなというのを感じ取れることができれば、大変うれしく感じます。よろしくお願いいたします。

**統括指導主事（保土澤）** ありがとうございます。今回の派遣生の中にも、学校での先輩の研究活動発表を聞いて、非常に興味を持った生徒が複数いました。自分にできることの一つとして、学校での成果還元、また報告・発表というところも促していきたいと思えます。

**庶務課長** ほかにいかがでしょうか。

**教育長** 私も一緒に行かせていただきました。帰ってきて子どもたちに、「皆さんがこれからやることは、様々体験してきたことを言語化することなのだ」と、最後に話をしました。体験が体験のままで終わってしまうのではなくて、それを言語に落とししていくというのは、振り返りもあるのだけれど、そういうのが学習になる。そこで今、質疑にあったけれど「自分の言葉」で、これがすごく大事で、いろいろな言葉を向こうで聞いてきて、それを分かったように使ってしまうのだけれど、そうではなくて、自分の言葉で自分の体験を語っていく、まとめていく、そうした報告会になるよう、是非それは期待していきたいなと思っています。

あと、この一番最後に7期生が来てくれたと書いてありますけど、す

ばらしいことで、成果を還元してもらおうという、まさにこの次世代育成基金はそういった部分の活用がすごく望まれているところで、いわゆる学んで学びっ放し、自分のことだけで終わりではなくて、それを次の代、自分よりも後輩の代に生かしていく、そして生かされた後輩がまた次の後輩のために生かしていく、そういう学びと還元というサイクルがしっかり回り始めているなと思っています。

なかなか高校生では参加しづらい部分がありますけど、少し大きくなった子どもたち、もう子どもたちではないかもしれないけど、是非来てもらって、参加できるようなシステムを作ってもらいたいなと思います。以上です。

**庶務課長** ほかによろしいでしょうか。

それでは、ないようでございます。報告事項4番につきましての質疑は以上でございます。

**教育長** それでは、以上で本日予定しておりました日程は全て終了いたしました。庶務課長、連絡事項がございましたら、どうぞ。

**庶務課長** 次回の教育委員会定例会につきましては、議会の関係から日程を変更させていただきまして、5月17日水曜日、午前10時から予定しております。どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

**教育長** それでは、本日の教育委員会を閉会いたします。